

大泉川砂防ダム地点発電所建設工事 評価項目表

非価格評価項目		記載要領：提案を求める事項 (様式集及び提案記載要領に明記)	最大枚数 様式番号	配点	評価の視点
大項目	中項目				
事業全体に関する項目	ア 事業全体方針	・本事業に対する理解、事業方針、コンセプト	A4×2枚 様式第4-(3)-ア	15点	・事業特性を踏まえた的確で魅力のある事業方針、コンセプトとなっているか。 ・他の審査項目と整合が取れているか。
	イ 事業実施体制及び実績	・県が付与した資格総合点数 ・事業に関わる企業の保有実績※1(平成18年4月1日以降のもの) 【調査・設計】発電出力が200kW以上の水力発電所における、新設又は大規模改修に係る基本又は詳細設計 【土木一式工事】発電出力が100kW以上の水力発電所における、新設又は大規模改修に係る工事 【電気工事】発電出力が100kW以上の水力発電所における、新設又は大規模改修(分解点検業務を含む)に係る工事 ・事業実施方針と体制図※2(有資格者等の主要な技術者を含む) ・事業に関わる企業とその役割分担※3 ・業務期間中の発注者との連絡体制  ※1 記載した実績については、実績を証明する書類等(契約書の写し等)を添付すること。 ※2 調査・設計業務並びに建設業務のうち鋼構造物工事、土木一式工事及び電気工事を実施する企業を明示したうえで、これら企業が有する実績を記載すること。 ※3 応募者が共同企業体である場合、JV協定書を添付すること。	A4×1枚 様式第4-(3)-イ	30点	・健全な経営状況を維持したうえで、本事業の円滑な実施に寄与する業務実績を有しているか。 ・事業に関わる企業について、役割分担が明確に示されているか。 ・必要とされる有資格者、技術者等の配置方針が妥当であり、その配置が、継続的かつ確実に見込めるか。 ・各業務の指揮命令系統が明確化されており、事業の適切なマネジメント及び安定的かつ円滑な事業実施が期待できる体制が構築されているか。
	ウ リスク対応策	・リスクに対する基本方針 ・リスク分担及びリスク対応策	A4×4枚 様式第4-(3)-ウ	15点	・主要なリスクの把握とその基本的な方針の考え方が示されているか。 ・当該リスクを顕在化させないためのリスク対応策について、具体的なかつ合理的な提案がなされているか。
	エ 事業スケジュール	・発電運用開始までのスケジュール ・設計・施工一括方式を最大限に活用した工程管理及び工期短縮に関する提案	A4×1枚 様式第4-(3)-エ(ア)  A3×1枚 様式第4-(3)-エ(イ)	30点	・事業に必要な許認可や各種届出など事業開始に向けたクリティカルパスが網羅されるほか、河川や自然環境の特性に応じた適切な工期設定等、事業遂行の確実性のあるスケジュールが示されているか。 ・遅延のない適切な工程管理ができていないか。(工程の実現性、工程管理方法の具体性)
	オ しゅん工後のアフターサービス	・発電施設機能の確認方法、設備機器の調整や点検メンテナンスが必要となった場合の対応方法、連絡体制、フォローアップ体制や期間 ・しゅん工後の引き渡し計画	A4×2枚 様式第4-(3)-オ	40点	・しゅん工後のアフターサービスについて、施設を維持管理するうえで有効な提案がされているか。 ・竣工後の引き渡しを円滑かつ確実に行うために、ノウハウの引き継ぎや情報開示について具体的に示されているか。
	カ 地域貢献(県内企業の参画)	・県内企業の参画方法とその確実性 ・県内企業活用に関する定量的な方策	A4×3枚 様式第4-(3)-カ	30点	・県内企業がJV構成企業や協力企業※1等としての参画が確実である根拠が示された提案がされているか。 ・地元下請け比率や発注比率等、県内企業に対する定量的な方策が提案されているか。 ・地元参画のポジション別の評価については、共同企業体の構成員、協力企業、その他の順に評価する ・県内企業の本店所在地別の評価は、上伊那、南信、県内の順に評価する  ※1) 提案書に企業名を明示して応募者の下請け企業として参画する企業を指す。
	キ 地域貢献(その他)	・本事業の実施による、県内や地元地域への地域貢献策 ・本事業の実施による、県内や地元地域への定量的効果に試算	A4×3枚 様式第4-(3)-キ	20点	・ボランティア活動や県内資機材の活用等、地域貢献につながる方策が、具体的にあり、実効性を備えているか。 ・地域貢献策の効果が定量的に示され且つ妥当な試算結果となっているか。
設計建設業務に関する項目	ク 設計業務の基本方針	・設計における品質確保の考え方 ・県への報告・確認プロセスを効率化するための工夫	A4×3枚 様式第4-(3)-ク	15点	・詳細設計内容に不備が無い、設計の品質を確保するための方法が具体的なかつ有効なものとなっているか。 ・県への報告・確認プロセスの効率化が期待できる具体的な提案がされているか。
	ケ 発電諸元の設定	・使用水量有効落差の最適な発電施設規模の設定(発電出力、運転範囲(使用水量、ダム水位)、有効落差、損失落差、発電電力量の試算、水車形式、総合効率等)	A4×3枚 様式第4-(3)-ケ	40点	・最適な発電設備規模の設定に至るまでのプロセスが妥当であるか。 ・売電収入が算出できる発電諸元が整理されているか。
	コ 施設の設計	・砂防ダムへの負荷を最小限とする方法 ・農業用水の確保の方法	A4×3枚 様式第4-(3)-コ	40点	・水圧管等の敷設方法に関し、砂防ダムへの負荷を最小限とする提案がされているか。 ・発電停止時における農業用水確保のための設備が適切に提案されているか。
	サ 建設における課題解決策	・発電施設建設にあたり、課題となっている事案の具体的な対応方法	A4×6枚 様式第4-(3)-サ	30点	・発電施設建設にあたり、課題となっている事案の具体的な対応方法が提案されているか。
	シ 運営効率化に資する新技術の導入	・運営効率化に資する新技術の導入提案	A4×2枚 様式第4-(3)-シ	15点	・最新のAI・IoT技術等の導入により、発電所の運営の効率化に向けた実現性の高い具体的な提案がされているか。
	ス 維持管理計画に関する提案	・ライフサイクルコスト削減策 ・維持修繕計画	A4×2枚 様式第4-(3)-ス(ア)  A3×3枚 様式第4-(3)-ス(イ)	30点	・維持修繕計画に対し、負担軽減策が具体的に示されており、実現性の高い提案がされているか。
	セ 建設工事計画及び施工監理方針	・仮設計画を踏まえた施工計画 ・工事における安全管理 ・試運転計画と実施内容 ・施工監理方針及び補完が必要な事案とその対応策(各専門分野や工種間における総合技術調整) ・施工期間中における下流への継続的かつ安定的な放流	A4×2枚 様式第4-(3)-セ	20点	・具体性と実行性が備わった施工計画が提案されているか。 ・安全管理に関する方針が示されており、具体的な工夫が見られるか。 ・試運転における作業計画、試験内容について具体的な方法が示されているか。 ・各専門分野や工種間における総合技術調整が必要となる事案とその対応策について、施工監理の観点から具体的に提案されているか。 ・施工期間中における下流への継続的かつ安定的な放流をするため、具体的なかつ有効な方策が提案されているか。
	ソ 地域貢献(防災に資する対応策)	・発電所の防災機能を活かした、地域住民向けの対応策	A4×2枚 様式第4-(3)-ソ	15点	・発電所の自立運転機能を活かした防災に資する実現性の高い具体的な提案がされているか。
	タ 地域貢献(周辺環境への配慮等)	・騒音、振動、粉じん、濁水等による周辺環境への影響の低減方法 ・搬出入車両、工事ヤードの管理方法 ・撤去、処分取扱い ・水力発電等の理解促進に資する設備	A4×2枚 様式第4-(3)-タ	15点	・工事による周辺への影響を十分に想定できているか。 ・周辺環境への影響を最小化するため、搬出入車両管理や騒音、振動、粉じん濁水対策における工夫が示されているか。 ・撤去、処分対象となる建設廃棄物について、適切な対応が提案されているか。 ・水力発電等の学びの場として使用できるような提案がされているか。
	<b>400点</b>				
<b>価格評価項目</b>				<b>配点</b>	
価格及び収益に関する項目				100点	建設費 : 30点(最低額/提案金額×配点) 40年間収益 : 70点(提案収益/最高収益×配点) ※収益 : 電力料収入(40年間) - 建設費 - ランニングコスト(40年間)
<b>100点</b>					
<b>非価格評価項目 + 価格評価項目</b>				<b>配点</b>	
				<b>500点</b>	